



前号のおさらい：金の平均足とボリンジャーバンド

発行日：2014/3/7



前回2月22日発行のテクニカル分析において、「東京金はボリンジャーバンドが拡大しているうえ、ミドルラインも角度があり強い上昇トレンドとなっている。平均足が昨日陰転したが本日再度陽転してきたため、再び上昇基調となる可能性が高いだろう。」と分析した。その後大きく上昇し平均足は一度陰転したもののそこでも同じ状況で反転し、本日3月7日に4477円の高値をつけている。これからプラス2シグマに沿った動きとなるかが焦点。また、平均足の実体が短くなったら反落に警戒する。

TOPICS 一目均衡表とストキャスティクス

一目均衡表は5本の線を用いたチャートを使い、それぞれ転換線・基準線・先行スパン1・先行スパン2・遅行スパンと呼ばれる線があり、すべての線が支持線・抵抗線となる。トレンドがあるときはそれぞれの線が押し目(戻し)の限界点を示す。

「ストキャスティクス」は1950年代にGeorge Lane氏により開発されたオシレーター系のテクニカル指標。直近の終値価格が一定期間のレンジ(高値安値の幅)の中でどの水準にあるかを分析する。価格の「売られ過ぎ」、「買われ過ぎ」を判断するための指標。

ストキャスティクスの基本となるラインは「%K」「%D」と呼ばれ、以下の計算式で算出される。

$$\%K = (\text{当日終値} - \text{過去}n\text{日間の最安値}) / (\text{過去}n\text{日間の最高値} - \text{過去}n\text{日間の最安値}) \times 100$$

$$\%D = \Sigma (\text{当日終値} - \text{過去}n\text{日間の最安値}) / \Sigma (\text{過去}n\text{日間の最高値} - \text{過去}n\text{日間の最安値}) \times 100$$

特に有効なのが、相場が新高値や新安値を付けたにもかかわらず、ストキャスティクスのほうは高値や安値の更新によってこれを確認できなかった場合、ストキャスティクスのダイバージェンス(逆行現象)となり、MACDのダイバージェンス同様に相場の天底の出現を示唆する可能性が高いサインとなる。

TOPICSs 金市場を一目均衡表とストキャスティクスで見てみよう

NY金は天井の可能性



NY金

NY金は転換線に支えられるかたちで上昇している。転換線を終値で割り込まない限りは上昇基調は続くことが予測される。

ただし、価格は高値を更新しているにもかかわらず、ストキャスティクスの高値は切り下がっており、ダイバージェンスが確認できる。3月に入っても価格は新高値をつけているがストキャスティクスはほとんど反応していないため、天井の可能性が高い。トレンド転換に注意したい。

東京金はダイバージェンスに注意



東京金

東京金もNY同様に転換線に支えられるかたちで上昇している。転換線を終値で割り込まない限りは上昇基調は続くだろう。ただし、ストキャスティクスが前回の高値数値を超えない場合にはダイバージェンスとなり天井の可能性が高まるので、注視したい。

割り込んだ場合には基準線までの下落を想定したい。

TOPICSs 他市場はどうか

東京白金は5000円に近づく



東京白金

東京白金は転換線からも大きく離れ強い上昇トレンドが確認できる。トレンドが強い場合にはストキャスティクスは上下に張り付き機能しなくなるため、100に近いからといって安易に売らないこと。

ただし、5000円のラインは過去何度となく跳ね返されている抵抗帯であるため、前回高値の4984円を超えた場合には利食い売りなども出やすいため警戒が必要だ。転換線までの反落は想定したい。

NY原油はさらに下落か



NY原油

NY原油は3月3日に105.22ドルまで上昇したが、ストキャスティクスは高値の数値を更新できずダイバージェンスとなっていた。3月3日高値が天井となり下落している。昨日は基準線に支えられ反発したが、ストキャスティクスの下落余地はまだあり、基準線を終値で割り込んだ場合にはさらに下落する可能性がある。その場合は雲のある96ドル付近までの下落を想定したい。

ドル円は方向性を見極めへ

ドル円



ドル円は雲のなかに突入している。ストキャスティクスは高値圏へと迫っている。雲に跳ね返され下落するか、雲を抜けて上伸するかで方向性が出てくるだろう。

今後の予想

今週は一目均衡表とストキャスティクスを利用し分析した。

NY金は価格が新高値をつけているにもかかわらず、ストキャスティクスは高値を切り下げており、ダイバージェンス(逆行現象)が確認できる。天井をつけた可能性が高く、ここからは反落する展開が見込まれる。

東京金もNY金同様、ダイバージェンスとなりそうだが、ストキャスティクスは上昇している途中で前回高値を更新する可能性が残されている。ストキャスティクスが反転しダイバージェンスとなった場合には一旦天井となる。

東京白金は上昇トレンドが続いているが、過去に何度も跳ね返されてきた5000円のラインに近づいており、そこでの反転には警戒したい。

NY原油はダイバージェンスが確認できたのち、すでに下落し始めている。すでに天井を打たせよう。ストキャスティクスは下落余地があり、基準線を割り込んだ場合には雲付近まで下落するだろう。

ドル円は雲に突入しており、今後は上に抜けるか跳ね返されるかによって方向性が決まるだろう。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス (以下「COMMi」という) が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

発行元：株式会社コモディティー インテリジェンス
 〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
 会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
 メールアドレス：kondo@commi.cc